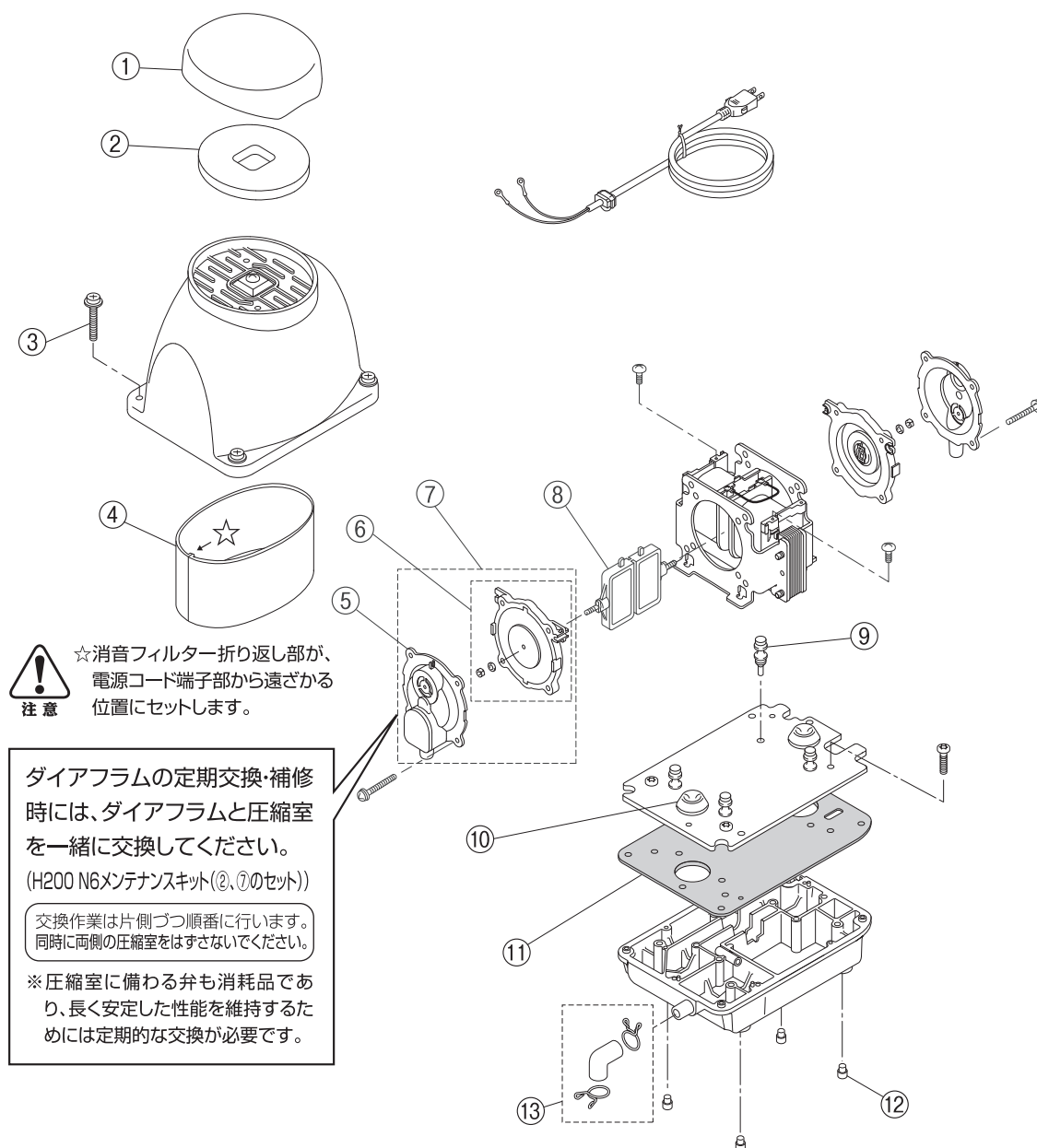


分解図・部品表



■ TM40E 補修部品リスト

No	品番	品 名
1	H612S	N6フィルターカバー(シルバー) (1個)
2	H507	N6エアフィルター (1個)
3	H684	M5-20十字穴付六角ボルト (4本セット)
4	H657	N6消音フィルター (1個)
5	H115	N6圧縮室セット (2個)
6	H012	N6ダイアフラムセット(★付) (2個)
7	H150	N6ダイアフラム・圧縮室セット(★付) (各2個)

(★)ナット・平ワッシャ

No	品番	品 名
8	H319	T6振動子セット(★付) (1個)
9	H658	N6防振ゴム (4個セット)
10	H821	N6吐出グロメットセット (2個セット)
11	H639	R10タンクパッキン (1枚)
12	H659	N6脚ゴム (4個セット)
13	H812	吐出ゴムホースセット (1個)
14	H200	N6メンテナンスキット(②と⑦のセット) (1個)

※構成部品は改良のため予告なく変更することがあります。

ダイアフラムの交換

●交換周期: 1年(ダイアフラム・弁は1年毎の定期的な交換を必ず行ってください。)

★破損や故障の原因となるため必ず指定された当社純正部品をご使用ください。



ダイアフラム・弁の交換は必ず電源を切ってから行ってください。
警告 感電の危険があります。

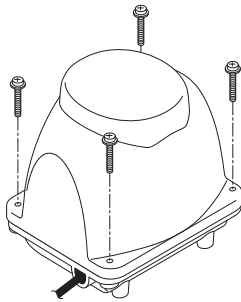


ダイアフラム・圧縮室は必ず両側を一緒に交換してください。
注意 交換されないと早期故障に至ります。

交換作業は片側ずつ順番に行います。**3**～**6** 同時に両側の圧縮室をはずさないでください。

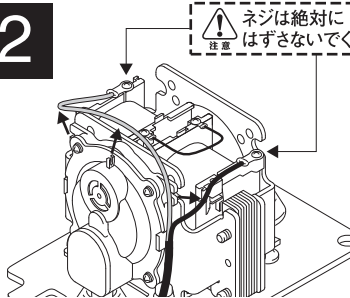
作業手順

1



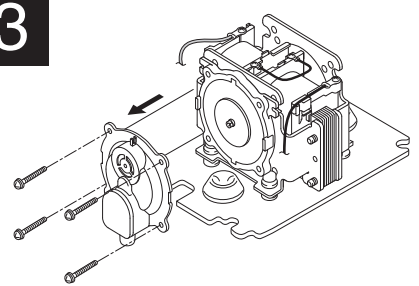
カバーボルトを8mmボックスレンチ又は十字ドライバーではずします。
※ボルトはなくさないようにしてください。

2



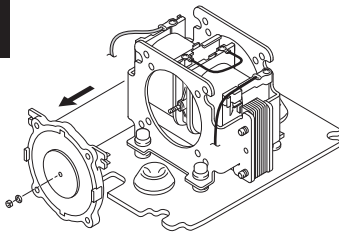
電源コードをフック(3ヶ所)からはずしてください。
注意: コードをとめているネジは絶対にはずさないこと!!
コードは強く引っ張らないこと!

3



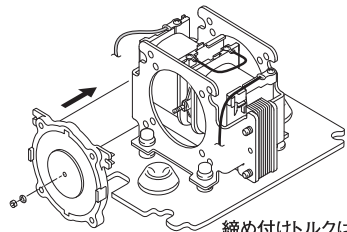
十字ドライバーで圧縮室のネジ4本をはずします。
※ネジはなくさないようにしてください。

4



M3ナットを取り
本体よりダイアフラムをはずします。

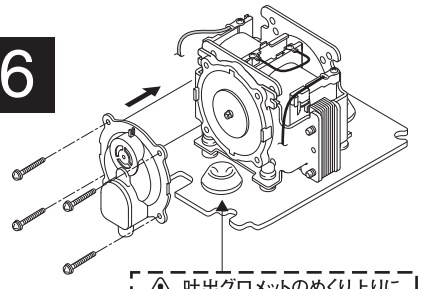
5



締め付けトルクは
約1Nm

新しいダイアフラムを取り付けます。
※M3ナットは付属の新しい物を使用してください。
M3ナットはボックスドライバ(ナットドライバ)で十分締め付け
てください。締め付けが足りないとナットが緩み、ダイアフラム
が振動子から外れ、ポンプが破損するおそれがあります。
※締め付けにボックスレンチを使用しないでください。
使用した場合、振動子のボルトが破断する恐れがあります。

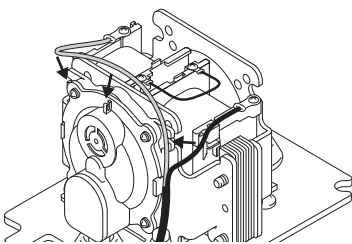
6



吐出グロメットのめくり上りに
注意してください。

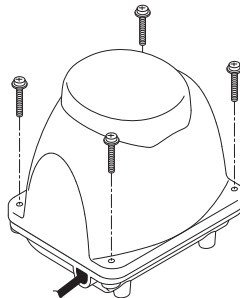
新しい圧縮室セットの吐出口を吐出グロメットにしっかりと
差し込み、ネジ4本で圧縮室セットを固定します。
続いて、反対側も**3**から**6**の作業を行います。
※ネジは少しずつ均等に締め付け、半締めのないよう
に確実に締結してください。

7



電源コードをフック(3ヶ所)にはめます。
※コードは他部品に当たらないよう
ゆとりをもたせて配線してください。

8



カバーボルトを8mmボックスレンチ又は十字ドライバーで締めます。
※配線やゴミのかみこみやタンクパッキンがめくれたまま締め付け
ないように注意してください。
※タンクパッキンが破損した場合は新しいものと交換してください。
※ボルトは少しずつ均等に締め付け、半締めのないよう
に確実に締結してください。

※作業終了後は必ず試運転を行い、正常に運転されることを確認してください。